

別記様式（第5条、第9条関係）

意見交換会実施結果記録表

開催日時	令和5年12月20日 18時00分～19時40分	
開催場所	三沢市公会堂 第8・9集会室	
会議名	令和5年度 市民と議会との意見交換会	
案件	意見交換会	
出席議員	座長	堀 光雄（議長）
	司会者	船見 昌功（広報広聴委員会 委員長）
	記録者	澤口 正義（広報広聴委員会 副委員長）
参加人数	（議員） 13名	（市民） 33名
実施内容	<p>「議員と市民で考える子育てしやすい三沢市」を主なテーマとし、ワールドカフェ方式（※）により意見交換を行った。</p> <p>※少人数のグループを複数配置し、組み合わせを変えながら話し合いを行う手法。</p>	
主な意見・提言等	別紙参照	

（作成年月日） 令和6年1月15日

（作成者） 澤口 正義

①三沢市の子育てで「誇りに思うこと」「残念に思うこと」
 (令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会)

	「誇り」に思うこと	「残念」に思うこと
A	<ul style="list-style-type: none"> 外国人のお友達が自然とできる 駐車場がある公園が多い 祭りが多くて楽しい 医療費無料がありがたい 子だくさんの家庭が多い 英語教育がある そらいえがある イベントが多い 三沢市民があたたかい、優しい 子育て世代の人たちが多い 公園が多い、きれい 	<ul style="list-style-type: none"> 産婦人科が少ない 雨や雪の日遊ぶ場所がそらいえしかない 今日このような集まりに託児が無い 冬の遊び場が少ない 遊園地がない 子育ての補助がわんぱく米だけだと少ない 給食を見直してほしい。有機・無添加など 給食費が無料じゃない 子どもと一緒に(ゆっくり)行ける飲食店が少ない 小さい子のお世話する場所が少ない。(オムツ替えなど) ランドマーク的な物が少ない 発熱外来がない?
B	<ul style="list-style-type: none"> 冊数が少ないが電子図書館が便利 基地内の学校との交流がある 国際的、英語が聞き取れる 除雪ラインがある 	<ul style="list-style-type: none"> 公園は多いけど駐車場が狭い。路駐が多い 空港の利用者数が少ない。駐車場が少なく不便 三沢に不妊専用の医師がいない 小児科、産婦人科が少ない。眼科が混みすぎ
C	<ul style="list-style-type: none"> 障害児、福祉事務所の方の説明がわかりやすい。親切です。 在留米軍との共存がうまくいっている数少ないケース 学校での体験活動が多い 公園が多く、新しい遊具も多い わんぱく米がもらえる 選択肢がある 温泉が多い 多様化に対応している 適度な自然環境(過ごしやすい) そらいえ等子どもが遊べる施設を作ってもらえた 国際交流ができる お金貸付 	<ul style="list-style-type: none"> 道路 計画的でないかも 同居世帯が少ない 給食費がまだ無償化になってない 車が必要なためお金がかかる ひとり親扶養手当がもらえなくなった 就職先が少ない 中心部は発展している 子ども自身が街づくりは大人中心だと感じている 公共交通機関が少ない 受験などで関東に行くのにお金がかかる 土地代が高くて定住につながりづらい。自治体による分譲等 まつりなど見物客が少ない 遊べる場が少ない バス代が高い 不妊治療に対する補助が自治体としてもっと手厚いとありがたい 除雪をしてもらえるが地域によって遅くなることもある 誰でも集える場(中・高生も)

①三沢市の子育てで「誇りに思うこと」「残念に思うこと」
 (令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会)

	「誇り」に思うこと	「残念」に思うこと
D	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の除雪がうまい ・中で遊べる施設がある ・大型遊具のある公園が多いので、子どもの遊び場所に困らない ・英検の助成金がある ・わんぱく家族米(3人以上、ひとり親世帯) ・高校生までの医療費の無償化 ・子育て支援センターが多い ・きれいな公園が市内の色々な場所にたくさんある ・アメリカ人の子との交流がある ・子のインフルエンザの補助などの支援がある ・治安が良い ・自分が卒業した学区で子育てができています ・子育てを通じて人間的な成長ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強できるカフェがない(高校生の娘が八戸のカフェで勉強してきている) ・大学がない(大学があると若い子が増えそう。基地内にはあるけど) ・給食費が無料でない ・高校が遠いので下宿だが、手当が少しでもあればうれしい ・通学路が危険 ・朝7時前、夜7時以降の保育がない ・子どもの第3の居場所が少ない ・生活困窮者に対する施策(学習支援) ・産婦人科が少ない ・病院で診療科がない科があるので、遠くまで行かないといけないときがある ・安心して子どもを送り出せない ・教育のあり方(既存の教育システムで子どもたちが生きていけると思えない) ・子育てをすると経済的に苦しくなる
E	<ul style="list-style-type: none"> ・そらいえ ・国際感覚を身に着ける環境にある ・スケート場がある(子ども割引がある) ・外国人が多く多国の文化や言葉に触れることができる ・県内一若い世帯が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・転勤でママ友と離れてしまう ・ホームページが充実していない気がする ・マイホーム購入を機に、近隣市町村に子育て世帯が流出してしまう ・学校給食費が無料にならない ・学区の問題
F	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童がほとんどいない ・小学生のあいさつ ・イベントが多い ・他県出身の人が多く住んでいるが、仲良く子育てできている ・自然がある(海と湖) ・国際色豊か 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの余裕、時間がない ・中学生、高校生のあいさつがない ・都会と比べると体験の場が少ない ・ベースがあるのに交流が少ない ・学校でタブレットを使っているのかよくわからない ・大型の買い物店がない ・中高生の集いの場が少ない ・子供会がない

①三沢市の子育てで「誇りに思うこと」「残念に思うこと」
 (令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会)

	「誇り」に思うこと	「残念」に思うこと
G	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点施設の「キッズセンターそらいえ」があること わんぱく米 PTAの活動が活発で子どもたちに良い影響を与えている 医療費負担がなく受診できる まつりが多い 保育所の数が充実 教育施設が充実 他の自治体より子どもが多い 受け入れる器が大きい アイスアリーナがある 航空科学館 英語教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 若者が働く場がないと思っている 仙台のような子ども病院がない 子どもの一時預かり施設が少ない 子どもの遊び場が少ない 親が仕事のとときに外に出すのが不安 中学生の子どもがいるが、坂があるので自転車を使用できない 遊びの幅が少ない 中学生が行ける運動施設が少ない(自転車でも行けない) 部活動の選択肢 産む場所が少ない 不登校のための相談先が学校以外にない 妊婦への支援 妊婦検診代が高い エコーの補助など多くしたほうが良い 小学生等の発達、精神科、神経科等、トータルして診てくれる小児科がない 病院に電話が繋がらない 保育士が足りない 戻ってこない
H	<ul style="list-style-type: none"> 英検助成 国際色→(交流)→英語教育 共存共栄 子ども医療費無償 わんぱく米 1人当たり15kg 公園が良い 	<ul style="list-style-type: none"> 産科が少なく病院に電話が繋がらない 給付金が遅い(1月) 習い事 子ども1~2人だと、わんぱく米が支給されない 家賃が高い ホテルに空きがない 雪(他県と比べ)→除雪のし方 給食費無償化 パンが少ない(給食) 情報発信が下手

②どんな三沢市ならば子育てしやすいと思うか
 (令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会)

どんな三沢市ならば子育てしやすいと思うか	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・三沢にいと何でもそろっていて楽しい!と思える場所になってほしい ・病院に遊べる場所 ・子どもと過ごす場所などいかに親子できもちよく過ごせるか ・子どもの遊び場が充実するとよい ・教科書代、制服代
B	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科や小児科、中学生以上の遊び場 ・学校に行かないとカウンセリングが受けられないので、心療内科などでカウンセリングしてもらえれば良いのでは?
C	<ul style="list-style-type: none"> ・18才未満の無料を増やす ・三沢独自の景気対策が必要 ・三沢にいれば所得が増える状況を作る ・部活動 ・親の環境によって経験の差が広がらないように ・習い事の選択肢 ・市外、市内への移動がもっと便利になってほしい ・子ども食堂を全学校に設置 ・イベントだけではなく日常にもっと国際交流 ・病院の種類がふえると良い ・子どもの通学時の交通安全、交差点での見守りなどがふえるとよい ・地域差がなくなる平等な機会 ・情報発信 ・SNS活用で子どもへいろんな情報 ・三沢のかっこいい大人が増える ・大人の働く場所が… ・子育て世代の方の仕事の支援 ・中高生が集える・遊べる場所 ・子供を預けるサービス、場所の充実 ・学校教員の充実 ・給食費支援や医療費支援など補助サービス ・障害児をトータル的にみてくれる場所少ない ・あまり困ったこともない
D	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化 ・小さい子どもが遊べる場 ・大学生への支援 ・複合施設がほしい ・ドームなどの試合会場があれば良い(サッカーの芝生) ・給付型奨学金があれば良い ・有料でも小さい子ども安心して遊ばせられるところあればいい ・中高生の居場所
E	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業 ・働く場所 ・児童館、保育園 ・大学、専門学校 ・差の少なさ
F	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種を便利に(検診時、保育所、学校で接種センターなど) ・医療の充実 ・小児科、産科 ・七戸や八戸のような養護学校 ・心理士、カウンセラーを市で雇う(今は保健師がいるが専門ではない) ・子育て支援の一環として、発達支援に関する親の知識や環境を充実

②どんな三沢市ならば子育てしやすいと思うか
(令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会)

どんな三沢市ならば子育てしやすいと思うか

G	<ul style="list-style-type: none">• 通学補助• 大人も楽しむ環境• 広域スクールバス、シャトルバス、オンデマンドバス• 高校へ入ってからのサポート• 大学補助• 将来の仕事• ICT• 子どもが遊ぶ場所と大人の遊ぶ場所の融合
H	<ul style="list-style-type: none">• 保育所など白いご飯を持っていくのは何故？理由がわからない。理由のわかる市だったら、安心して子育てできるかな？• 学校や施設が親と連絡がきちんとできる市だといいなあ。• 土地が安くて家を建てたくなる市• 産婦人科を増やす• 高校生の学費なども補助する• 養育費全部無料若しくは所得3倍• 子ども宅食• 高校大学無償化• 働く場

③議会がやるべきこと・議会と市民と一緒に取り組みたいこと
 (令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会)

議会がやるべきこと・議会と市民と一緒に取り組みたいこと	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・子の世代によって課題は変化していくが、将来を見据えて未来へむかって大きく考える必要 ・子どもにかかるお金を増やす。対策がかたよっていないか見直す ・18歳未満の無料を増やす ・子ども食堂を増やす ・根本的な少子化は防げないが、議題にあがった事を実現できれば三沢市の少子化は防げるのではないか ・食の大切さ ・市民の森を活用するとよい
B	(記載なし)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・行政は接遇をもっと学ぶべき。市民が声かけやすくなる ・市民が望んでスタートしたことも担当者が変わると内容がわからなくなるので専門員がほしい ・議員も職員も共に学ぶ ・市民の声をきく機会を増やす
D	<ul style="list-style-type: none"> ・政策による子育てに対する不安の解消が必須
E	<ul style="list-style-type: none"> ・安価で自然にあふれた住環境の創造 ・議会は切実なる思いに気付いていない
F	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策 ・もっと便利な仕組みづくり
G	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりの難しさを解消 ・かゆいところに手が届くサービス ・公的サービスと民間サービスの連携
H	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てナンバーワンのまちに ・こども未来会議を知事と設置 ・窓口ワンストップ

④その他（テーマ以外の意見等）
（令和5年12月20日 子育て世代との意見交換会）

その他（テーマ以外の意見等）	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない人同士こんなにたくさん話せてすごい！定期的に開催を
B	<ul style="list-style-type: none"> ・三沢市は子育てしにくいと思った事はありませんでしたが、今回いろいろな意見を聞いて気づきもありました。小児科、カウンセラーなど個人で思っている何も変わらないのでこういう機会をたくさん作って欲しい ・知らなかったことを知れた。みんな悩みがあるんだと感じた ・三沢LOVE
C	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな機会にふれるいい機会だった。三沢をみんな好きで意見をだしている。こんな機会があったらまた参加したい。三沢を好きになってほしい。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的困窮の度合いが思っていたよりひどい ・子育てってこんなに（そんなに）つらいもの？ ・議員の方とお話をするということで、初めは遠い存在に感じましたが、意見を親身に寄り添って聴いていただけで、うれしかったです。三沢市はいいところがたくさんあるというところを再確認できました。また、これからも三沢市に住み続けるために、みんな改善点を見つけることができよかったです。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ては出生から大学卒業、就職と、長期的な政策が必要だと思いました。きめ細かな取り組みが必要だと思いました。 ・三沢市の子ども医療費は、他市町村で使っても窓口負担がなくて大変助かる。そんないいところもあるが、三沢はPRが不足しているのかな？と感じた。公園が整備されていてキレイとか、他市町村の方がうらやむそらいえなど、いいところもたくさんあるのに…。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもを育てている親は、予防接種が大変だと知った。 ・子育ては中学で終わらない。高校や大学まで子育て。高校からの支援が少ないと知った。 ・議員の方と話す機会をいただき、とても良い時間を過ごすことができました。これからも回数を増し、話し合いができる場が増えるといいなあと思います。
G	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育のあり方、重要性を理解しました。行政と民間で連携して一時保育の方法を考えたいですし、うまく体系的に整理して発信していきたい。 ・もっと声をあげて伝えることで、三沢市に住みたくなる人が増えてくると希望を感じました。今回参加してよかったです。 ・子どもの遊び場が少ないと感じている人が多かった。 ・子どもが多い家庭は、苦労しながら子育てをしていることが改めてわかった。
H	（記載なし）